

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木駅南地区第一種市街地再開発事業施設建築物	階数	地上14F
建設地	海老名市河原口一丁目5000番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、厚木駅南地区地区計画区域	平均居住人員	703 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2021年3月8日
敷地面積	4,998 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	2,652 m ²	確認日	2021年3月8日
延床面積	18,596 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.9
Q2 サービス性能: 3.4
Q3 室外環境(敷地内): 2.5
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 3.2
LR3 敷地外環境: 2.8

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	駅前再開発計画であり賑わいを創出する商業地の形成と周囲とのつながりに配慮した調和のとれた複合住宅の形成を意図している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・二重壁によりD _r 値50を目標値として設定。 ・建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得。 ・各住戸に1Gb/sクラスのブロードバンドが利用可能。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BEI=0.90、LED照明設備及び潜熱回収型給湯器を採用。	・躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される